

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり				
推進方策	2 生涯を通じた健康支援				
施策の方向及び具体的施策	1 市民の健康づくり支援		(1) 健康教育・健康相談		
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向	
		現状値(H24)	目標値(H29)		
健康相談事業	保険健康課			①充実 ●	②継続
事業の概要					
健康増進法に基づく健康増進事業による健康相談を実施する。 事業の対象年齢は、40歳から65歳未満とされているが、宇和島市健康づくり推進計画を基本として、成人期の健康づくりに役立てることとしている。事業の主な内容は、血圧測定・体重・体脂肪率の測定を始め、尿検査、保健師・栄養士による健康及び栄養に関するアドバイスを通して市民の健康づくりに寄与する。					
平成25年度実績					
1)まちの健康相談室 実施内容:健康に関する相談、健診結果の説明、血圧・体重測定・体脂肪測定(偶数月のみ)・尿検査(必要時) 実施回数:年間 48回(市役所、三間保健福祉センター、津島保健センター、吉田支所において毎月実施) 参加者数:年間延べ 305人 2)その他の健康相談 実施内容:歯周疾患健康相談、病態別健康相談、市民健康相談等 実施回数:年間延べ 161回 参加者数:延べ 1,870人 総計: 209回 延べ 2,175人					決算額
					241千円
					実績値
					209回
					進捗状況
					4
事業に対する評価・課題等					
・平成25年度から開始した「生活習慣病重症化予防対策」の一環として、重症化ハイリスク者に対して、健診結果説明会(病態別健康相談)の利用勧奨を実施したことにより、健診受診後の治療放置予防に役立っている。しかしながら、来所者の高齢化、固定化の傾向は続いており、より若い世代への周知を図っていく必要がある。 ・市民のニーズに即した出前相談等は増加傾向にあり、今後も随時相談対応が可能であることを周知し、市民に身近な相談窓口として活用を推進していく予定である。					
男女共同参画の視点での評価					
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか					4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか					4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか					5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか					5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか					4
平成26年度予定					
①まちの健康相談室の日程を特定健診及び後期高齢者健診受診者へ配布する冊子に記載し周知する。 ②医療機関と連携し、治療中の若い世代や健診受診後の保健指導が必要な人が、市の保健サービスが活用できるよう、利用勧奨を依頼する。(チラシやポスター掲示) ③生活習慣病重症化ハイリスク者への電話等による利用勧奨 ④市民が集まる機会等へ出向き健康相談を実施する機会を増やす。(出前健康相談等)					予算額
					256千円
					目標値
					増加

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり				
推進方策	2 生涯を通じた健康支援				
施策の方向及び具体的施策	1 市民の健康づくり支援		(1) 健康教育・健康相談		
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向	
		現状値(H24)	目標値(H29)		
健康教育事業	保険健康課			①充実 ●	②継続
事業の概要					
健康増進法に基づく健康増進事業による健康教育を実施する。 事業の対象年齢は、40歳から65歳未満とされているが、宇和島市健康づくり推進計画を基本として、成人期の健康づくりに役立てることとしている。事業の主な内容は、生活習慣病予防をはじめ市民の健康づくりを目的とした運動、栄養等に関する知識の普及と実践への支援を行う。					
平成25年度実績					
1)教育内容(種別) ・病態別(生活習慣病やがん予防)、歯周疾患、慢性閉塞性肺疾患(COPD)、ロコモティブシンドローム予防及び一般健康教育等					決算額
2)ヘルスアップ実践講座・・・体験型健康教育を通じて、楽しみながら生活習慣行動の改善に取り組む ①運動編(基礎編・総集編) 年間11回 参加者数 延べ96人 ②栄養編(試食型及び実習型) 年間11回 参加者数 延べ130人					735千円
3)その他の健康教育及び啓発活動 ①「健康づくり出前講座」の実施・・・公民館、保育園・幼稚園、学校等との連携による健康教育の実施 ②広報うわじま「健康づくり通信」掲載・・・毎月 ③「健康づくりパネル展」の実施・・・年間 26回 ④公民館館報掲載					実績値
健康教育 総計: 271回 延べ 11,918人					271回
					進捗状況
					4
事業に対する評価・課題等					
・今年度から、介護予防の視点も含めた“ロコモティブシンドローム予防”が健康増進事業の教育内容となり、従来のウォーキングを中心とした内容から筋力アップ等の基礎を含めた内容とし、参加者からも好評を得た。また、栄養編では、手軽な野菜レシピが実践しやすいとの感想等が得られた。 ・各種団体や地区組織からの依頼による健康教育は、依頼元のニーズと市の健康課題を組み合わせ、プログラムや内容を検討し実施した。 ・「健康づくり出前講座」が定着化しているが、内容のマンネリ化もあり、地域の健康課題や住民ニーズに応じた内容の検討が必要である。					
男女共同参画の視点での評価					
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか					5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか					5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか					5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか					5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか					5
平成26年度予定					
①「ヘルスアップ実践講座」の日程を、特定健診及び後期高齢者健診受診者へ配布する冊子に記載し周知する。(後期高齢者については、地域包括主催の講座等紹介含む)					予算額
②集団健診の場を利用した野菜摂取啓発(フードモデル使用)や、婦人がん予防、COPD予防教育等を実施していく。(継続)					757千円
③市の保健事業の利用勧奨とともに、身近な健康づくりに利用できる社会資源に関する情報提供を実施し、生活改善等が継続できるよう支援する。					目標値
④「健康づくり出前講座」のメニュー見直しと地域特性に応じた健康教育を実施する。					-
⑤ケーブルテレビ等を活用した啓発活動を実施する。					-

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり							
推進方策	2 生涯を通じた健康支援							
施策の方向及び具体的施策	1 市民の健康づくり支援				(1) 健康教育・健康相談			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向				
		現状値(H24)	目標値(H29)					
高齢者サロンへの医療出前講座	病院局 (吉田病院)	-	18回	①充実		②継続	③新規 ●	
事業の概要								
高齢者の健康支援のため、医師・看護師・栄養士・理学(作業)療法士・薬剤師等が地域の高齢者サロンに出向き、医療(健康)講座・相談を行う。 (24年度より実施中)								
平成25年度実績								
・高齢者サロン 2会場(約40名) 内容…歯科衛生士「お口の健康」、栄養士「高齢者の食事」、看護師「血圧測定・健康診断」、理学療法士「日常生活注意点とストレッチ」 ・地区社協・公民館主催講座 1回(約40人) 内容…検査技師「検査の見方」、看護師「血圧測定・健康相談」、理学療法士「ストレッチ体操」							決算額	
							—	
							実績値	
							3回	
							進捗状況	
							3	
事業に対する評価・課題等								
評価: サロンの希望により内容を決めているため興味を持って受講され、終了後のお茶会・懇談会にも参加し個別相談等を行って好評である。 課題: サロンの開催日、時間が土日や午前中が多く、業務の関係上、出向けない場合が多いため、土日の開催については出向けるよう検討する。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							3	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							3	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							3	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							—	
平成26年度予定								
・開催希望の高齢者サロンで継続して実施予定。 ・土日開催のサロンへの出前講座を実施。							予算額	
							—	
							目標値	
							6回	

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	2 生涯を通じた健康支援						
施策の方向及び具体的施策	1 市民の健康づくり支援			(1) 健康教育・健康相談			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)				
医療懇談会の実施(地域住民の健康増進)	病院局 (津島病院)	(49自治会)	50回	①充実		②継続 ●	③新規
事業の概要							
地域住民の健康増進を図るため、自治会単位での医療懇談会の実施。							
平成25年度実績							
津島地区の各自治会の集会所等において、病院長及びスタッフが住民と医療について懇談を行った。 実施回数42回、出席者数609人。							決算額
							—
							実績値
							42
							進捗状況
							5
事業に対する評価・課題等							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							5
平成26年度予定							
各自治会で継続して開催していく。							予算額
							—
							目標値
							—

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	2 生涯を通じた健康支援						
施策の方向及び具体的施策	1 市民の健康づくり支援			(2) 生活習慣病予防教室			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実		②継続 ●	③新規
特定保健指導の推進	保険健康課	36%	60%				
事業の概要							
<p>内臓脂肪症候群に着目した特定健康診査の結果に基づく階層化により、生活習慣改善の必要度に応じた「積極的支援」「動機づけ支援」「情報提供」の分類を行い、それぞれに即応した特定保健指導を行う。</p> <p>特定保健指導は、市民自らが生活習慣改善の目標を設定し、実践するものであり健康に関する自己管理ができ、結果として内臓脂肪症候群の改善を目的として実施する。</p>							
平成25年度実績							
特定保健指導							決算額
積極的支援 対象者 222名	初回面接実施者 78名	実施率 35.1%					707千円
動機付け支援 対象者 381名	初回面接実施者 145名	実施率 38.1%					実績値
特定保健指導受講者の改善状況 (積極的支援から動機付け支援・情報提供、動機付け支援から情報提供になったもの)							37%
平成24年度特定保健指導受講者 積極的支援 改善率40.4%							進捗状況
動機付け支援 改善率33.1%							5
事業に対する評価・課題等							
<p>初回面接の実施率は37%と昨年度の36%から上昇した。</p> <p>5年間経年未受診ハガキ送付の効果で、新規対象者・40代の対象者が増加し、新規受講者が増加したことにより、全体の実施率が向上したと考えられる。</p> <p>H26年度からの特定健診自己負担無料化の相乗効果により、さらなる新規受講者の増加が見込める可能性は大きい。</p> <p>過去に特保を受けたことがある者の受講率(リピーター率)は年々減少傾向である。</p>							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							5
平成26年度予定							
①特定保健指導拒否者のうち、重症ハイリスク者へ対しては、訪問等による保健指導を実施し、生活習慣病の発症・重症化予防に努める。							予算額
②内臓脂肪とインスリン抵抗性についての理解を深めるため指導冊子を見直し、対象者が保健指導後も振り返り、目標継続に活用できるようにする。							1,120千円
③栄養素別のリーフレットを作成し、より具体的で各受講者に応じた栄養指導を行う。							目標値
④魅力ある保健指導実施のため、支援スタッフのスキルアップを行う。							52%

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	2 生涯を通じた健康支援						
施策の方向及び具体的施策	1 市民の健康づくり支援			(2) 生活習慣病予防教室			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)				
糖尿病教室	病院局 (宇和島病院)			①充実		②継続 ●	③新規
事業の概要							
入院患者や外来患者を対象として、医師により糖尿病の基礎知識や治療法に関する講義を行うほか、発病または進行を予防するための食事栄養・運動等の療法について栄養士、リハビリ技師等が指導するなど、実践に繋がる学習機会の提供を行う。							
平成25年度実績							
							決算額
							—
・実施回数33回(夜間糖尿病教室3回を含む) のべ参加者数610人(入院85人、外来525人)							実績値
							左記のとおり
							進捗状況
							5
事業に対する評価・課題等							
・定期的な開催が継続できている。市広報や病院ホームページ、院内ポスター掲示、開催当日の院内放送などで、患者、市民に広く浸透し、糖尿病予防の啓発が図れた。 ・平成25年度の予定通り、これまでの内科のみならず皮膚科、歯科口腔外科、眼科などの医師や、栄養士、理学療法士、薬剤師、臨床検査技師、看護師のコアスタッフに加え歯科衛生士、総務管理課、地域連携室職員による講和を実施し、多角的に糖尿病の理解を深めることができた。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							5
平成26年度予定							
屋間糖尿病教室年間30回、夜間糖尿病教室3回開催 平成25年度同様、医師・コメディカル・事務部門の全病院スタッフが講師となる予定。患者会(パール会)活動を通して世界糖尿病デー(11/14)のイベントも平成25年度同様実施予定。							予算額
							—
							目標値
							—

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	2 生涯を通じた健康支援						
施策の方向及び具体的施策	1 市民の健康づくり支援			(2) 生活習慣病予防教室			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)				
心臓病教室	病院局 (宇和島病院)			①充実		②継続 ●	③新規
事業の概要							
入院患者や外来患者を対象として、特に3大疾病の1つである心筋梗塞を引き起こす可能性のある心臓病に焦点をあて、生活習慣を改善することで予防に繋げるため、医師による病気の基礎知識及び治療法に関する講義、栄養士による栄養食事指導など実践に繋がる学習機会の提供を行う。							
平成25年度実績							
・実施回数12回 延べ参加者数171名(入院患者18名、外来患者153名)							決算額
							—
							実績値
							左記のとおり
							進捗状況
							5
事業に対する評価・課題等							
定期的で開催しており、事前に広報うわじまでの周知や当日は随時院内放送を実施していることから、患者・市民に広く浸透し、心臓病予防に対する意識啓発が図れた。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							5
平成26年度予定							
今後も定期的実施する。							予算額
							—
							目標値

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	2 生涯を通じた健康支援						
施策の方向及び具体的施策	1 市民の健康づくり支援			(2) 生活習慣病予防教室			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)				
肝臓病教室	病院局 (宇和島病院)			①充実		②継続	③新規 ●
事業の概要							
入院患者や外来患者を対象として、医師による肝臓病についての正しい知識や治療法に関する講義を行うほか、栄養士による栄養食事指導を行い、実践につながる学習機会の提供を行う。							
平成25年度実績							
実施回数4回、延べ参加者数31名(入院患者1名、外来患者30名)							決算額
							—
							実績値
							左記のとおり
							進捗状況
							5
事業に対する評価・課題等							
参加人数は他の教室に比べると少ないが、広報や院内掲示・ポスターにより実施しており、本当に必要な患者の知識・普及は実施できていると考える。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							5
平成26年度予定							
平成25年度同様年間4回の実施。担当は内科の清家医師から行本医師、花山医師へ変更となる。							予算額
							—
							目標値
							—

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	2 生涯を通じた健康支援						
施策の方向及び具体的施策	1 市民の健康づくり支援			(2) 生活習慣病予防教室			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)				
生活習慣病予防のためのお料理教室	病院局 (宇和島病院)			①充実		②継続	③新規 ●
事業の概要							
生活習慣病予防のために、食事内容の改善につながることを目的に、栄養士が減塩や野菜たっぷりのレシピを作成し、実習を行い、実践につながる調理自習の機会を提供する。							
平成25年度実績							
実施回数10回。延べ参加者数51名。							決算額
							—
							実績値
							左記のとおり
							進捗状況
							5
事業に対する評価・課題等							
毎回テーマに沿った献立を立案し、講義と調理実習を通して生活習慣病予防のため日常的な実践に繋がる情報を提供した。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							5
平成26年度予定							
月1回実施予定(ただし8月、1月は休み)							予算額
							—
							目標値
							月一回実施

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	2 生涯を通じた健康支援						
施策の方向及び具体的施策	1 市民の健康づくり支援			(3) 壮年期からの健康づくり			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
心の健康相談事業	保険健康課						
事業の概要							
<p>心の健康に関する相談事業をいう。 当該事業は、個別の相談に対して、相談窓口の周知による情報提供及び必要な助言を行うことにより、個々のもつ悩みを軽減することを目的として実施する。近年は、うつ病に関する相談をはじめ精神障害に関する相談や社会復帰のための相談が多くなっている。 事業の従事者としては、精神科医師、臨床心理士、保健師等で対応する。</p>							
平成25年度実績							
①実施場所	宇和島市役所						決算額
②日程	毎月第2水曜日:年12回 予約制						-
③スタッフ	精神科医師相談(精神科スタッフ):年6回 保健師相談:年12回						実績値
④利用状況	実人数 8人						12回
⑤相談内容内訳(重複あり)	うつ病:5人 妄想:1人 依存症:1人 自殺願望:1人 統合失調症1人 治療に関する相談 2人						進捗状況
⑥来所者内訳	10代:0人 20代:1人 30代:4人 40代:0人 50代:1人 60代:0人 70代:2人						5
事業に対する評価・課題等							
<ul style="list-style-type: none"> ・新規相談者が多く、特に若い30代のうつ傾向の相談が多かった。 ・相談内容としては、うつ傾向が多く、また既に治療に結びついているケースからの相談もあった。必要に応じて訪問など継続した支援を行っている。 ・医師相談後病院を受診し、治療開始となったケースもあった。相談をきっかけに円滑な早期治療に結びついたケースもあり、気軽に利用できる医師相談の目的が達成されている。 							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか						5	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか						5	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか						5	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか						5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか						5	
平成26年度予定							
1)対面型相談支援事業の充実 2)人材養成事業の実施により、相談者側のスキルアップに努める。 3)相談窓口の周知強化 ①周知用パンフレットの作成・配布 ・相談窓口一覧を明記した健康カレンダーを作成し、全戸配布する。 ②保健事業を通じて、相談窓口の周知を図る。						予算額	
						-	
						目標値	
						-	

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり		
推進方策	2 生涯を通じた健康支援		
施策の方向及び具体的施策	1 市民の健康づくり支援	(4) 男性に対する健康づくり支援	

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
心の健康づくり教育事業	保険健康課			●			

事業の概要

精神保健に関する知識の普及を図ることを目的として、健康教育を実施する。
事業の内容は、全市民を対象とした講演会をはじめ、公民館、各種団体等に出向き保健師による健康教育を実施する。

平成25年度実績

①心の健康づくり講演会 日時：平成25年11月24日(日) 場所：市役所2階大会議室 講師：NPO法人こころ塾 塾長 村松 つね テーマ：「あなたのこころに寄り添って」～地域でいきいきと暮らすためにあなたもゲートキーパーになろう～ 参加者：110人 ②心の健康づくり健康教育 年間計画に基づき、各地区で実施		決算額
		2,466千円
		実績値
		950人
		進捗状況
	5	

地区	開催回数	延人数	対象者	内容
本庁	10	413	民生児童委員会協議会総会 女性団体宇和島支部 支援 教室関係者 一般市民 婦 人会 祝祭公民館祭	地域で支えよう心の健康づくり 心のリフレッシュ講座 「思春期保健」ともに うつ予防(DVD視聴)
吉田	7	83	吉田高校教職員 つほみっこ 倶楽部 一般市民 老人クラブ 奥南母子愛育会	あなたの「こころ」はお元気ですか 心のリフレッシュ講座
三間	8	287	一般市民	心の健康づくり うつ予防(DVD視聴)
津島	5	57	福祉会館体操教室参加者 一 般市民	ストレスと上手につきあうために うつ予防(DVD視聴)
計	30	840		

事業に対する評価・課題等

- ①心の健康づくり講演会
 ・広く市民に、心の健康づくり、うつ予防に関する正しい知識とゲートキーパーの考え方の普及をするを目的として講演会を開催した。
 ・講演はゲートキーパーとしての「気づき」「聴いて」「見守り」について具体的に話をされ、内容的にも当市にあったわかりやすいものであった。アンケート集計では、「講演内容についてわかった」、「講演内容が役立つ」人がほとんどであり、「自分自身のことも分かり、人のこともわかってあげられる講演だった」「人の気持ちに寄り添い、自分自身も心身ともに健康でいることの大切さを感じた」などの感想がたくさん記述されていた。
 ・講演資料は先生のご厚意で、今後地域でのゲートキーパーの考え方の普及として活用する予定である。
- ②心の健康づくり教育
 ・一般市民向けの普及啓発用の全戸配布用パンフレットを作成し健康教育に使用することで、多くの人にライフステージごとのストレス要因や起こりやすい心のトラブルと予防対策、相談窓口等を周知することができた。健康教育の人数は大幅に増加した。

男女共同参画の視点での評価

事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか	4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか	5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか	5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか	5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか	5

平成26年度予定

1)自殺予防の視点を強化した啓発活動の実施	予算額
①講演会の継続開催・・・若い世代からを対象に内容は「自己尊重、自殺予防、命を考える」	1,865千円
2)地域に出向いた教育により知識の普及啓発を図る。	目標値
①年間計画に基づいた健康教育の実施・・・啓発パンフレット・DVDの利用	
②心の相談窓口ちらしを作成し各協力機関や各地区健康教育で周知	600人

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	2 生涯を通じた健康支援						
施策の方向及び具体的施策	1 市民の健康づくり支援			(5) 喫煙・飲酒に対する対策			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)				
健全育成推進事業(事業を実施している小中学校割合)	学校教育課	91%	100%	①充実		②継続 ●	③新規
事業の概要							
喫煙、飲酒の健康被害について情報を提供する。「心身ともに健康な子」の育成。							
平成25年度実績							
校舎敷地内禁煙の徹底を図った。学校薬剤師を招聘し、薬物乱用防止教室を実施した。学校医による健康管理に関する講演会を実施した。校舎敷地内喫煙禁止の徹底を図った。							決算額
							実績値
							92%
							進捗状況
4							
事業に対する評価・課題等							
禁煙に対する保護者の意識が高まり、運動会や学習発表会においても敷地内禁煙を徹底することができた。児童は、喫煙・飲酒の健康被害について理解することができたが、今後も継続して行いたい。未成年の喫煙・飲酒・薬物乱用の害についての理解が深まった。公共の場でのマナーについての理解が深まった。喫煙や飲酒・薬物についての理解は深まったが、無理解な家庭もあり課題がある。学級活動や体育科の保健領域の指導に、薬物乱用防止教育を位置付け実施することができた。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
平成26年度予定							
喫煙・飲酒の健康被害について、児童の意識を高めるために、授業内容の工夫・改善を図る。校内敷地内禁煙の徹底(学校行事・PTA活動等での呼び掛け)。公共の場でのマナーについての学習の展開。敷地内禁煙の表示を作成し、外来者の禁煙を促していく。保護者への受動喫煙防止の啓発活動を行う。学校薬剤師と連携し、「薬物乱用防止教室」を開催する。食育に関する研修(学級保健委員会)。小児生活習慣病予防教育の実施。生活安全課の方を講師とした薬物乱用防止教室の開催と少年法に関連した講演の開催							予算額
							目標値
							100%

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	2 生涯を通じた健康支援						
施策の方向及び具体的施策	1 市民の健康づくり支援			(5) 喫煙・飲酒に対する対策			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)				
受動喫煙防止対策事業(公民館施設内禁煙)	生涯学習課			①充実		②継続 ●	③新規
事業の概要							
不特定多数の住民が利用する公民館において受動喫煙防止策を推進するために、平成24年度までに全館施設内禁煙を実施し達成する事ができた。							
平成25年度実績							
平成24年度で全館施設内禁煙を達成することができた。							決算額
							0千円
							実績値
							30館
							進捗状況
							5
事業に対する評価・課題等							
市が管理している公民館は、市の方針として実施できているが、地元管理の集会所を兼ねた公民館については、建物全体の禁煙は困難。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							—
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							—
平成26年度予定							
市が管理している公民館は目標を達成できたが、地元管理の集会所を兼ねた公民館についても施設内禁煙を目指したい。							予算額
							0千円
							目標値
							—

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり				
推進方策	2 生涯を通じた健康支援				
施策の方向及び具体的施策	1 市民の健康づくり支援		(5) 喫煙・飲酒に対する対策		
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向	
		現状値(H24)	目標値(H29)		
禁煙外来の開設	病院局(宇和島・津島病院)			①充実	②継続
				③新規	●
事業の概要					
<p>禁煙はこれまで個人の意志や努力の問題とされてきましたが、平成16年より厚生労働省は医師による禁煙指導を「ニコチン依存症」という病気に対する「治療」と位置づけ、公的医療保険の給付対象としました。</p> <p>禁煙外来では、禁煙の実行・継続にむけてのアドバイスや治療薬の処方を行うことにより、禁煙をサポートすることを目的としています。</p> <p>○宇和島病院＝心臓血管外科外来にて。毎週金曜日午後1時30分～午後3時30分 ○津島病院＝内科外来にて。毎週火曜日午後2時～4時</p>					
平成25年度実績					
<宇和島病院> H25年度患者数 25人、禁煙治療終了者 13人、禁煙成功者 17人。 <津島病院> H25年度患者数 2人、禁煙治療終了者 1人、禁煙成功者 1人。					決算額
					—
					実績値
					先のとおり
					進捗状況
					—
事業に対する評価・課題等					
受診者数が減っており、啓発が望まれる。					
男女共同参画の視点での評価					
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか					5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか					5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか					5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか					5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか					5
平成26年度予定					
これまで同様に継続して実施していく。					予算額
					—
					目標値
					—

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり	
推進方策	2 生涯を通じた健康支援	
施策の方向及び具体的施策	1 市民の健康づくり支援	(6) 安心して子どもが産める環境づくり

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
妊婦健康診査(公費負担)	保険健康課	98.1%	100%	①充実	②継続	●	③新規

事業の概要

母子保健法の規定により、妊娠中の女性への健康保持増進を図るために、妊婦健康診査を実施し、その費用の全部または、一部を助成することにより、妊婦の経済的な負担の軽減を図り、安心安全な妊娠・出産に資することを目的とするものである。

平成25年度実績

<p><対象> 宇和島市に住民登録をしている妊婦</p> <p><内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度と同様に妊娠期を通して公費負担回数を14回として実施。 ・健診内容はH24年度と特に変更なし。 ・平成24年度診療報酬の改定に伴い、平成25年4月1日以降の妊婦一般健康診査受診票交付者から健康診査単価が変更となった。 	<table border="1"> <caption>②9枚綴り分</caption> <thead> <tr> <th></th> <th>交付数</th> <th>受診数</th> <th>受診率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1回目</td><td>514</td><td>483</td><td>94.0%</td></tr> <tr><td>2回目</td><td>521</td><td>489</td><td>93.9%</td></tr> <tr><td>3回目</td><td>525</td><td>504</td><td>96.0%</td></tr> <tr><td>4回目</td><td>528</td><td>495</td><td>93.8%</td></tr> <tr><td>5回目</td><td>532</td><td>461</td><td>86.7%</td></tr> <tr><td>6回目</td><td>533</td><td>418</td><td>78.4%</td></tr> <tr><td>7回目</td><td>533</td><td>346</td><td>64.9%</td></tr> <tr><td>8回目</td><td>534</td><td>261</td><td>48.9%</td></tr> <tr><td>9回目</td><td>533</td><td>147</td><td>27.6%</td></tr> </tbody> </table>		交付数	受診数	受診率(%)	1回目	514	483	94.0%	2回目	521	489	93.9%	3回目	525	504	96.0%	4回目	528	495	93.8%	5回目	532	461	86.7%	6回目	533	418	78.4%	7回目	533	346	64.9%	8回目	534	261	48.9%	9回目	533	147	27.6%	<p>決算額</p> <p>34,039千円</p> <p>実績値</p> <p>99.1%</p> <p>進捗状況</p> <p>5</p>
	交付数	受診数	受診率(%)																																							
1回目	514	483	94.0%																																							
2回目	521	489	93.9%																																							
3回目	525	504	96.0%																																							
4回目	528	495	93.8%																																							
5回目	532	461	86.7%																																							
6回目	533	418	78.4%																																							
7回目	533	346	64.9%																																							
8回目	534	261	48.9%																																							
9回目	533	147	27.6%																																							

	交付数	受診数	受診率(%)
1回目	511	498	97.5%
2回目	520	518	99.6%
3回目	523	513	98.1%
4回目	530	520	98.1%
5回目	533	393	73.7%

事業に対する評価・課題等

- ・妊婦健診の内容が平成24年度から県下統一となり、内容は充実してきている。定期的に健診を受診している妊婦の割合は99%と高い。
- ・高血糖妊婦が県下で高いため、今年度より「高血糖妊婦台帳」を作成し、妊娠婦期に食事・運動指導、40歳以降には特定健診の受診勧奨を行った。
- ・しかし、血糖異常妊婦の中には、妊券1回目で高血糖であっても、妊券4回目では改善されている場合が多い。
- ・食事等の影響で第1回目が高血糖となってしまう妊婦も多いと考えられるため、集計方法の改善が必要である。
- ・今後も、母子健康手帳交付時に利用方法を説明し、妊娠期の健康管理を適切に支援していきたい。

事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか	—
性別による固定的な役割分担等が行われていないか	—
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか	—
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか	—
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか	—

平成26年度予定

<ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度と同様に14回分の受診票を交付し、適切な時期に健診を受けるよう勧奨し、妊娠期の健康管理に役立てる。 ・血糖異常妊婦の集計方法を改め、今後の高血糖妊婦へのフォロー体制を検討する。 	<p>予算額</p> <p>41,263千円</p> <p>目標値</p> <p>100%</p>
--	---

かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり				
推進方策	2 生涯を通じた健康支援				
施策の方向及び具体的施策	1 市民の健康づくり支援		(6) 安心して子どもが産める環境づくり		
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向	
		現状値(H24)	目標値(H29)		
両親学級	保険健康課			①充実 ●	②継続
事業の概要					
妊婦及びその家族に対し、子どもを健康に産み育てるための知識・技術について支援し、母子保健の向上に努める。また、妊娠・出産に対する不安の軽減を図り、仲間作りの場とする。					
平成25年度実績					
【パパママスクール】 (対象) 宇和島市に居住地を有する妊婦及びその配偶者 (場所・回数) 宇和島保健センター一年9回(日曜日5回・平日の夜間4回) (内容) 栄養についての講話、試食、夫の妊婦体験、妊婦体操、赤ちゃんの育て方・沐浴実習 など (従事者) 保健師・栄養士					決算額
					11千円
					実績値
					ハッピーマタニティ編4講座 フレフレ育児編5講座
					進捗状況
					4
事業に対する評価・課題等					
・昨年度まで実施していたマタニティスクール・マタニティクッキングは参加者が少ないため今年度より中止し、夫婦で参加できる教室を充実させることとし、「パパママスクール」の回数を増やして実施した。 ・「学級の内容に満足できた」と答えた妊婦は99.0%夫も98.9%と満足度は高い。 ・出産まで「親になる」自覚を持ちにくい夫も多いと思うが、少しでも自覚を促していきたい。					
男女共同参画の視点での評価					
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか					5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか					5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか					5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか					5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか					5
平成26年度予定					
・教室の内容を検討し、利用しやすいプログラムとする					予算額
					16千円
					目標値
					8講座

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり				
推進方策	2 生涯を通じた健康支援				
施策の方向及び具体的施策	1 市民の健康づくり支援		(6) 安心して子どもが産める環境づくり		
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向	
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	●
妊産婦相談	保険健康課			②継続	③新規
事業の概要					
妊娠・出産及び産褥期における異常の予防及び健康増進に関し必要に応じて支援し、妊娠・出産・育児に対する不安を軽減する。また妊婦同士の交流の場とする。					
平成25年度実績					
<対象>宇和島市に住民登録をしている妊産婦 <従事者>保健師・管理栄養士 <内容>個々の妊産婦に応じた相談 <場所・回数> ・母子手帳交付時における妊婦相談:508人 ・定例妊産婦相談(育児相談と同時開催):宇和島保健センター、立間公民館、三間保健福祉センター、津島保健センター 計48回【妊婦】相談者(実)6人、相談者数(延)12人【産婦】相談者(実)52人、相談者数(延)100人 ・随時妊産婦相談:集会所や公民館、電話等において随時実施 【妊婦】来所 3人、電話 20人【産婦】来所等 11人、電話 23人					決算額
					0千円
					実績値
					48回
					進捗状況
事業に対する評価・課題等					
・定例日の妊産婦相談は、乳幼児の育児相談を兼ねて来所する人が多い。 ・妊婦の相談は少ない。定期受診の病院等で不安を解消している可能性も高いと感じられる。 ・母子手帳交付時に、アンケート調査を実施し、若年妊婦などフォローが必要と感じられた妊婦については、いつでも相談にのれることなど説明し、出産に対する不安軽減に努めている。					
男女共同参画の視点での評価					
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか					—
性別による固定的な役割分担等が行われていないか					—
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか					—
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか					—
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか					—
平成26年度予定					
・母子手帳交付時に実施するアンケート調査で、若年妊婦や生育歴等支援の必要な妊婦に対しては、児童虐待防止の観点からも支援を開始する。 ・パパママスクールでも、妊産婦相談の紹介を行い、相談の場があることを伝えていく。					予算額
					0千円
					目標値
48回					

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり	
推進方策	2 生涯を通じた健康支援	
施策の方向及び具体的施策	1 市民の健康づくり支援	(6) 安心して子どもが産める環境づくり

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
母子健康手帳の交付事業	保険健康課			●			

事業の概要

妊娠・出産・育児に関する一貫した記録と情報を提供し、安全で安心できる出産及び育児に役立てる。

平成25年度実績

(対象) 宇和島市に住民登録をしており、妊娠届出書(妊娠証明書)を提出した妊婦
(場所) 本庁及び支所窓口にて交付
(内容) 母子健康手帳・妊婦一般健康診査受診票・妊婦歯科健康診査受診票交付、保健指導、ハイリスク妊婦の把握、妊婦アンケートの実施、母子保健事業の紹介、母性健康管理指導事項連絡カードの説明、出産後の諸手続きの説明
(従事者) 保健師

	妊娠届出数	初産婦数
宇和島地区	422	185
吉田地区	35	17
三間地区	10	1
津島地区	41	12
計	508	233

決算額

84千円

実績値

508人

進捗状況

5

事業に対する評価・課題等

- ・母子保健のスタートである母子手帳交付時に保健師が関わり、アンケートにより、若年妊婦等必要な支援へとつないでいる。
- ・母子手帳交付時、夫婦での来庁も多く、母子手帳及び妊婦一般健康診査についての説明や出産についての相談を夫婦で聞くことができる。
- ・平成25年度から妊婦歯科健康診査が実施となり、妊娠中の歯科検診の重要性について情報提供し、受診勧奨を行うことができる。
- ・妊婦アンケートから、妊娠中の妊婦の喫煙率は昨年度より減少しているが、妊婦の同居家族の喫煙率は増加しているため、今後も母子健康手帳交付時に喫煙による胎児や母体への影響を説明し禁煙を進めていく必要がある。

男女共同参画の視点での評価

事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか	—
性別による固定的な役割分担等が行われていないか	—
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか	—
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか	—
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか	—

平成26年度予定

・母子保健のスタートである母子手帳交付時に保健師が関わり、妊婦アンケートにより、若年妊婦等支援の必要な妊婦には、妊娠期からの虐待予防のためにも支援を開始する
・喫煙習慣のある妊婦及び同居家族に対しては、母子健康手帳交付時に喫煙(受動喫煙含む)による胎児や母体への影響についての情報提供・パンフレットの配布を行い禁煙を勧める。

予算額

90千円

目標値

—

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	2 生涯を通じた健康支援						
施策の方向及び具体的施策	1 市民の健康づくり支援			(6) 安心して子どもが産める環境づくり			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)				
安産教室	病院局 (宇和島病院)			①充実		②継続 ●	③新規
事業の概要							
妊婦の健康管理の必要性についての啓発や妊娠・出産に関する不安等に対応できる相談を行うもの。							
平成25年度実績							
毎月第1、第3、第4水曜日に実施(第1水曜日は栄養指導も実施)。 ・栄養指導分: 医師、助産師による指導、相談に加え、栄養士による栄養指導を実施。実施回数11回。のべ参加者97名。 ・一般分: 医師、助産師による指導、相談。実施回数22回。のべ参加者252名。							決算額
							—
							実績値
							33
							進捗状況
							—
事業に対する評価・課題等							
該当者には検診時に案内していることから、多数参加してもらっている。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							5
平成26年度予定							
これまで同様に実施継続する。							予算額
							—
							目標値
							—

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	2 生涯を通じた健康支援						
施策の方向及び具体的施策	1 市民の健康づくり支援			(6) 安心して子どもが産める環境づくり			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)				
育児学級	病院局 (宇和島病院)			①充実		②継続 ●	③新規
事業の概要							
産後の健康管理の必要性についての啓発や育児に関する不安等に対応できる相談を行うもの。退院時だけでなく、外来に来られた妊婦を対象として、参加を呼びかけている。							
平成25年度実績							
参加者なし。							決算額
							—
							実績値
							0回
							進捗状況
							5
事業に対する評価・課題等							
月1回の実施だが、2年続けて参加者がいない状況である。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							
平成26年度予定							
参加者を増やすため、周知をより積極的に行う。							予算額
							—
							目標値
							—

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	2 生涯を通じた健康支援						
施策の方向及び具体的施策	1 市民の健康づくり支援			(7) 生涯スポーツの推進			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)				
総合方スポーツクラブの組織充実への支援	生涯学習課			①充実 ●	②継続		③新規
事業の概要							
年齢や個人の能力に応じた様々な運動やスポーツに、「いつでも、どこでも、だれもが」親しむことのできる環境を整備し、市民の健康維持・増進を目指す総合型スポーツクラブを助長しようとするものである。							
平成25年度実績							
平成21年度より、現在の環太平洋短期大学部が主導するクラブとなり、行政組織並びに市体育協会は組織から離れる。 (平成21年度 廃止)							決算額
							—
							実績値
							—
							進捗状況
							—
事業に対する評価・課題等							
なし							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							—
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							—
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							—
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							—
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							—
平成26年度予定							
なし(平成21年度 廃止)							予算額
							—
							目標値
							—

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり			
推進方策	2 生涯を通じた健康支援			
施策の方向及び具体的施策	2 教育・相談の充実		(1) HIV/エイズや相談の充実	
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向
		現状値(H24)	目標値(H29)	
HIV/エイズ・性感染症に関する正しい知識の普及・啓発	保険健康課			①充実 ②継続 ● ③新規
事業の概要				
<p>全国における平成23年のHIV感染者及びエイズ患者の新規報告数(確定値)は1,529件であり、平成19年以降患者数の多い状態のまま推移している。平成23年の新規HIV感染者は1,056件で過去4位の報告数となり、また新規エイズ患者報告数は473件で過去最多の報告数となっている。そのため、早期発見のために、検査機会を提供する必要があり、愛媛県においては、保健所が検査・相談体制の構築を進めている。市においても、保健所が実施するHIV検査及び相談事業等について、ポスター、チラシ、広報等の手段により、市民へ広く周知するほか、健康教育において感染症の正しい知識の普及・啓発を図っている。</p>				
平成25年度実績				
<p>愛媛県内の保健所が実施する定期相談に加え、「愛媛HIV検査普及週間(6月1日～7日)」に実施される定期外(休日・夜間等)の相談・検査について、ポスターの貼付等により、広く市民に周知した。また、世界エイズデーに呼応して定められた「愛媛エイズ予防週間(12月1日～7日)」に実施される相談・検査についても、ポスターの掲示や市広報誌への掲載等により、広く市民に周知した。</p> <p>また、ひとり暮らしサポート講座【体験学習型】(希望する高校と連携して公民館で実施)及び【出前講座】(希望する高校に出向いて実施)において、ひとり立ち前の高校3年生に対し、HIV/エイズ、性感染症に対する情報提供を行った。</p>				決算額
				実績値
				進捗状況
				4
事業に対する評価・課題等				
<p>愛媛県では、平成23年は11件、平成24年は10件と2年続けて報告数が多い状態が続いていたが、平成25年は5件と、例年なみの報告数だった。平成26年は5月21日現在で1件の報告がある。今後も、正しい知識の普及等、啓発活動を推進するとともに、感染への不安がある場合の早期受診に加え、エイズへの誤解・偏見のない環境を作る必要がある。市においては、愛媛県内の保健所が実施する相談・検査事業の周知及び、正しい知識の啓発活動について引き続き協力体制を継続するとともに、高校生生の若い世代を対象に積極的な普及・啓発活動を推進していく。</p>				
男女共同参画の視点での評価				
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか	5			
性別による固定的な役割分担等が行われていないか	5			
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか	5			
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか	5			
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか	5			
平成26年度予定				
<p>・保健所実施の相談事業などの周知に対する協力。 ・ひとり暮らしサポート講座における高校3年生に対する健康教育、及び他の学年の高校生、中学生など各校の依頼により学校に出向いて健康教育を実施。</p>				予算額
				目標値

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	2 生涯を通じた健康支援						
施策の方向及び具体的施策	2 教育・相談の充実			(1) HIV/エイズや相談の充実			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
健康衛生推進事業・人権啓発推進事業(事業を実施している小中学校割合)	学校教育課	87%	100%	①充実	②継続	●	③新規
事業の概要							
HIV/エイズや性感染症に関する正しい知識を普及する。性に関する指導の充実。「心身ともに健康な子」の育成。学校での児童が、発達段階に応じた知識を身につけ、適切な行動が取れるようにするための教育の推進。							
平成25年度実績							
保健領域において、各学年の発達段階に応じた指導を行った。保健の時間を通して、エイズに関する学習を行った。高学年(6年)で、エイズ・性感染症についての授業を行った。性教育年間指導計画に沿って、発達段階に応じた指導を行った。年間指導計画に従って、発達段階に応じた性教育を実施した。(集中学習)人権教育の視点では、「一人一人を尊重し、あらゆる偏見や差別は許されない」児童生徒の育成に努めた。							決算額
							実績値
							89%
							進捗状況
4							
事業に対する評価・課題等							
保護者への啓発・連携が不十分であった。児童は、正しいエイズに関する知識を理解することができた。スクールヘルスリーダーと連携して計画的な指導を行った。生徒については、正しい知識を学ぶことはできている。今後は、保護者への啓発にも力を入れていきたい。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
平成26年度予定							
性に関する指導を充実させる。高学年(6年)でのエイズ・性感染症についての授業の実施。性教育年間指導計画に沿った発達段階に応じた指導の実施。エイズやハンセン病に関する人権学習の実施(6年体育科保健領域)。人権・同和教育の視点から、HIV/エイズ患者への偏見をなくす学習を行う。							予算額
							目標値
							100%

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	2 生涯を通じた健康支援						
施策の方向及び具体的施策	2 教育・相談の充実			(2) 発達段階に応じた生命と人権を大切に 性教育の推進			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)				
生きる力を育む教育推進事業(事業を実施している小中学校割合)	学校教育課	87%	100%	①充実	②継続	●	③新規
事業の概要							
生命尊重・人格尊重・男女平等の精神に基づき自分自身を大切に、相手の心身の健康についても思いやりを持つことができるよう、指導を推進する。 心身ともに健康な子の育成。							
平成25年度実績							
一人一人がかげがえのない存在であることを理解させるよう努めた。年間計画にそって、発達段階に応じた性教育を実施した。性教育年間指導計画に沿って、発達段階に応じた指導を行った。参観日に性教育の授業を公開した。道徳を中心に、相手を思いやる心情の大切さについて指導した。全教員が担当児童を変えながら毎月行うあのねタイム(教育相談活動)の充実により、児童の悩みや不安、いじめにつながりそうな事案の把握に努めた。							決算額
							実績値
							89%
							進捗状況
4							
事業に対する評価・課題等							
児童の発達に差があり、個に応じた指導をすることが難しかった。児童は、正しい知識を学び、意欲的に学習することができた。発達段階に応じて、生命尊重・人格尊重・男女平等について各教科で実施できた。各学年の発達段階に応じた指導を実施しているが、家庭環境や個人差もあり一律の指導は難しいと考えられる。自分自身を大切に思わない、いわゆる自己肯定感の低い生徒の指導に課題が残った。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
平成26年度予定							
教職員が研修を重ね、効果的な指導ができる力を付ける性教育年間指導計画に沿った指導の実施。参観日における性教育の授業公開。養護教諭と連携した授業づくりを工夫し、性に関する指導を効果的に実施する。養護教諭と担任による授業や、保健集会を計画的に実施する。道徳全体計画及び年間指導計画を見直し、各教科等と関連した指導を行い、生命尊重・人格尊重・男女平等の精神を育む。保健集会を計画的に実施する。思いやりや異性の尊重に関する指導を年間指導計画の中に位置付け、各学年の発達段階に応じた指導を実施する。学年集会、全校集会を活用した、生命と人権を大切に講和や指導の充実。							予算額
							目標値
							100%

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	2 生涯を通じた健康支援						
施策の方向及び具体的施策	3 保健・医療体制の整備				(1) 健康診査		
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)				
基本健康診査の推進(H19年度老人保健法→H20年度特定健診の受診率)	保険健康課	20.3%	60%	①充実		②継続 ●	③新規
事業の概要							
<p>宇和島市国民健康保険被保険者の内、40歳から64歳の者を対象として実施する健康診査をいう。</p> <p>糖尿病等の生活習慣病が起因とされている内臓脂肪症候群の該当者を早期に発見し、特定保健指導につなげることを目的として健康診査を行う。市民の健診に関する関心度や仕事が忙しいなどの理由による健診離れが進んでおり、健診の重要性を周知徹底する必要があると感じている。</p> <p>健康の基本は、健診からであることを周知徹底することにより受診率アップに努める。</p>							
平成25年度実績							
<p>・特定健診・後期高齢者健診：個別(6月～2月)・集団(6月～1月 58回)で実施</p>							
		対象者	受診者	受診率	昨年度受診率	決算額	
		特定健診	20441	4537	22.20%	20.30%	32,705千円
		後期高齢者健診	13614	566	4.20%	3.40%	
<p>・受診率アップへの取組</p> <p>①5年間経年未受診者へはがきによる受診勧奨</p> <p>②5年間不定期受診者へ電話による受診勧奨</p> <p>③40歳の未申込者への受診勧奨訪問</p> <p>④新聞折り込みチラシやケーブルテレビの活用</p> <p>⑤事業所健診・人間ドックなどのデータ取得</p>							
事業に対する評価・課題等							
<p>・特定健診受診率は、僅かながら毎年上昇傾向にある。しかし目標の60%には程遠い状況である。</p> <p>・受診率アップの取り組みでは、634人の健診初回申込みがあり、重症化予防についても意義があった。</p> <p>・健診を「受けない」理由は治療中が多く、個別健診の勧奨や医療機関への働きかけが重要である。</p> <p>・今後は受診しやすい健診体制の整備や、より一層の受診率向上の取組の検討が必要である。</p>							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							5
平成26年度予定							
<p>1) 受診しやすい健診体制の整備</p> <p>・特定健診の無料化</p> <p>・市民が利用しやすい健診会場の設定(きさいや広場等)</p> <p>・年度末年齢40歳のがん検診の一部無料化の継続</p>							予算額
<p>2) 受診率アップの取り組み</p> <p>・節目年齢の健診受診勧奨(40.50.60歳)</p> <p>・継続受診者の増加に向けた健診登録制の検討</p> <p>・ケーブルテレビ等マスコミの活用</p> <p>・個別健診増加に向けた取り組み(受診勧奨・医療機関への協力依頼)</p>							52,046千円
							目標値
							30%

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	2 生涯を通じた健康支援						
施策の方向及び具体的施策	3 保健・医療体制の整備				(1) 健康診査		
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)				
人間ドックの充実(施設設備・検査項目)	病院局 (宇和島病院)			①充実	②継続	●	③新規
事業の概要							
1日ドックを月～金曜日の各日で1日あたり5名まで、2日ドックを火・水曜日、木・金曜日の2クールで1クールあたり8名まで、脳ドックを火曜日、木曜日、金曜日に1名ずつ受け入れ、実施している。検査メニューは充実しており、また同程度の内容で実施している県内の他施設に比べて安価な料金設定を行っていることにより、圏域の受診率向上にも寄与している。また、受診時には、集団による健康管理指導も実施している。							
平成25年度実績							
一般個人の受診のみならず、企業等の契約を積極的に受け入れている。						決算額	
						—	
ドック受診者数 1日ドック:1046人 2日ドック:521人 脳ドック:118人						実績値	
合計:1685人						先のとおり	
						進捗状況	
						—	
事業に対する評価・課題等							
ドック専従医師がおらず、受け入れ数を増加させることが難しい。他の診療と並行して診断業務も行うことになるため、健診結果の作成までに日数がかかる場合がある。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか						5	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか						5	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか						5	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか						5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか						5	
平成26年度予定							
継続実施						予算額	
						—	
						目標値	
—							

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり	
推進方策	2 生涯を通じた健康支援	
施策の方向及び具体的施策	3 保健・医療体制の整備	(2) がん検診の体制整備

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
がん検診(胃がん・大腸がん・肺がん・前立腺がん・子宮がん・乳がん)	保険健康課	12%	50%	①充実	②継続	●	③新規

事業の概要

健康増進法に基づき各種がん検診を実施する。
 死亡原因の三大要因のうち、がん(悪性新生物)による死亡の減少は、全国と同様に本市においても急務であるとする。がんの早期発見・治療なくしてがん死亡を減少させることは困難であることから、市民が受診しやすい体制づくりに努めると同時に、検診項目及び検診の精度管理等の充実に努め受診率アップを図る。

【がん検診項目】

- ・40歳以上を対象:胃がん検診・大腸がん検診・肺がん検診・前立腺がん検診・乳がん検診(乳房超音波検診:30歳以上女性)
- ・20歳以上を対象:子宮がん検診

平成25年度実績

・子宮がん、胃がん検診(胃透視・胃カメラ)は個別健診を実施							決算額
H25年度がん検診実施状況							57,959千円
	胃がん	肺がん	大腸がん	前立腺がん	子宮頸がん	乳がん(マンモ)	実績値
受診者	2849	4352	4684	1690	2980	3141	増加
受診率	8.7	13.3	14.3	14.0	13.4	15.8	進捗状況
回数	58	66	77	58	43	46	4

クーポン事業受診状況

	子宮頸がん		乳がん(マンモ)	
	受診者(人)	受診率(%)	受診者(人)	受診率(%)
H24年度	532	27.3	827	29.7
H25年度	272	14.9	790	29.0

事業に対する評価・課題等

- | | | |
|---|--------------------------|--------------------------------|
| 1) 受診しやすい検診体制の整備
・30歳代の乳房超音波検診の回数増
・年度末40歳の一部がん検診無料継続
・子育て中が受診しやすい検診体制
(ボランティアの協力等) | 2) 精密検査が必要な人へ面接、電話等で受診勧奨 | 3) がんに関する正しい知識の普及のため機会ある毎に周知する |
|---|--------------------------|--------------------------------|

男女共同参画の視点での評価

事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか	5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか	5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか	5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか	5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか	5

平成26年度予定

1) 受診しやすい検診体制の整備 ・女性が受診しやすいレディース検診日の設定 ・婦人健診時の託児の継続 ・子宮体がん検診の試行的実施 ・検診に関する周知方法の充実と継続	2) がん検診要精密者の不安軽減及び受診支援 ・精密検査受診率の低いがん検診の受診勧奨の強化	予算額
3) がんに関する正しい知識の普及 ・学校におけるがん予防教育の現状把握	4) がんに関する相談体制の整備 ・個別支援と情報提供	65,774千円
		目標値
		30%

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	2 生涯を通じた健康支援						
施策の方向及び具体的施策	3 保健・医療体制の整備			(3) 地域医療の充実			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)				
国民健康保険直営診療所運営事業	保険健康課	9施設4医師	9施設5医師	①充実		②継続 ●	③新規
事業の概要							
<p>宇和島市国民健康保険直営診療所(9診療所(2出張所を含む))を安定的に運営し、地域住民に対する医療を充実させ、男女がともに安心して暮らすことができる地域づくりに寄与する。</p> <p>平成23年度は医師(所長)5名体制であるが、平成24年3月末の遊子診療所長退任に伴い、以後は当面4名体制となる。引き続き各医師の兼任管理を適正化し、各診療所の診療体制を充実・継続させる。</p>							
平成25年度実績							
<p>24年4月から、9施設4医師での診療体制となっている。平成25年度は、蔦淵診療所長が遊子・下波・蔦淵診療所を、戸島診療所長が嘉島診療所を、日振島診療所長が喜路・能登出張所を兼任管理している。遊子診療所の医師不在に伴い、遊子・下波・蔦淵診療所の診療体制が変更し、3診療所いずれも、前年度と比較して診療日数が減少することとなった。</p> <p>25年度も診療所が所在する地域の人口減少も顕著であり、受診患者数も減少傾向にある。</p>							決算額
							実績値
							9施設4医師
							進捗状況
4							
事業に対する評価・課題等							
<p>宇和島市においても、市立宇和島・吉田・津島病院が医師募集を行っており、診療所としても非常に厳しい現状にある。給与の増額などの変更は財政上厳しく、現状維持での募集が精一杯の状況である。しかし医師募集は継続して行っていく必要があり、長期間勤務できる体制を構築することも急務である。</p>							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
平成26年度予定							
							予算額
							目標値

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	2 生涯を通じた健康支援						
施策の方向及び具体的施策	3 保健・医療体制の整備				(3) 地域医療の充実		
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
診療船うわじま維持管理事業	保険健康課						
事業の概要							
宇和島市国民健康保険直営診療所で、診療船うわじまの維持管理(運航等)を行っている。この診療船を活用することにより、離島での医師の兼任管理、兼任管理中の緊急搬送等を行い、地域医療の充実を図るとともに、地域住民の生命の安全を確保している。							
平成25年度実績							
平成25年度は、戸島診療所長が兼任管理する嘉島診療所への移動手段として、月曜日、水曜日及び金曜日の午前中、定期運航している。また、施設修繕及び医療機器の導入等、診療所の維持管理に必要な事項について、不定期に運航している。 毎年度、年2回の定期ドックを実施し、診療船の維持管理を行なっている							決算額
							実績値
							進捗状況
							4
事業に対する評価・課題等							
宇和島市国民健康保険直営診療所は、民間医療機関の進出が望めない地域に所在しているが、これら地域は、民間交通機関の便数が少なく、診療所間の移動手段は、主に公用車や診療船を利用することになる。特に離島においては、定期連絡船の運航数運航時間、台風災害時等の運航停止等があり、診療船の果たす役割は非常に大きくなっている。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							3
平成26年度予定							
ここ数年、離島における診療所長の異動等はなく、よって26年度も25年度と同様、戸島・嘉島間の兼任管理に伴う診療船運航を実施する。また、年2回の定期ドックを実施する。医師の退職等があれば、診療日程の変更、兼任管理の変更が必要となるが、適宜、実情に即して対応する。							予算額
							目標値

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり				
推進方策	2 生涯を通じた健康支援				
施策の方向及び具体的施策	3 保健・医療体制の整備		(3) 地域医療の充実		
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向	
		現状値(H24)	目標値(H29)		
病院と診療所の連携強化	保険健康課			①充実	②継続 ● ③新規
事業の概要					
<p>宇和島市国民健康保険直営診療所と市立宇和島病院との連携を強化し、診療所及び病院の役割を明確にし、疾病の段階や状態により住民(患者)にとっての最適な地域医療を提供する。</p> <p>診療所は1次医療機関として、患者の診察治療に当たり、急性期等緊急性の高い患者を市立宇和島病院へ紹介する。また、市立宇和島病院は2次医療機関として急性期等を経過した患者の家庭・地域での生活のため、診療所へ紹介する。</p> <p>診療所及び病院が相互に連携することで、患者のQOLを高め、地域医療の充実を図る。</p>					
平成25年度実績					
24年度に引き続き、診療所による「開放型病院」オープンシステムにより、診療所からの紹介・入院した患者を、診療所医師が市立宇和島病院で診ることができる。診療所から市立宇和島病院への患者紹介及び、市立宇和島病院から診療所への患者紹介を実施し、患者の疾病段階や状態による最適な医療を提供している。					決算額
					0千円
					実績値
					進捗状況
3					
事業に対する評価・課題等					
離島であるため患者の輸送手段が限定され、診療所医師の不在や診療所での受入れ時、医療機器の設備面での不足問題等が生じてきて病院から診療所での時に対応できないと思われる。					
男女共同参画の視点での評価					
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか					5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか					5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか					5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか					5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか					4
平成26年度予定					
引き続き前年度と同様					予算額
					目標値

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	2 生涯を通じた健康支援						
施策の方向及び具体的施策	3 保健・医療体制の整備			(3) 地域医療の充実			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)				
病院と診療所の連携強化	病院局			①充実		②継続 ●	③新規
事業の概要							
<p>入院を必要としない程度の方を対象に医療を提供している診療所(クリニック)や、生命に危険のある方を助ける3次救急医療や高度専門医療を提供する市立宇和島病院のような急性期病院が、自らの施設の機能や規模、特色、宇和島圏域の医療の状況に応じて、医療の機能分担や専門化を進め、円滑な連携を図るとともに、それぞれの医療機関の有する機能を有効かつ迅速に活用することにより、一層、受診者の方々がシームレスで適切な医療を受けることができるようにする。</p> <p>また、県下統一の地域医療連携システムを導入することによって、各種地域連携パスとともに上記地域医療連携を促進する。</p>							
平成25年度実績							
<p>地域連携室を中心に転院先の確保から在宅療養支援、看取りに至るまでありとあらゆる相談支援に対応し、シームレスな地域連携の強化及び患者・家族の不安解消にもつながっている。</p> <p>地域医療連携システムについては、愛媛医師会が開発したEMAネットワークへの加入を手始めとして、今後の診療情報のIT化を見据え、新たな地域医療連携システムの構築へ向けた検討を始めている。また、脳卒中地域連携パスの運用実績は年間94件と着実に実績を伸ばしている。</p>						決算額	—
						実績値	—
						進捗状況	4
						事業に対する評価・課題等	
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか						5	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか						5	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか						5	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか						5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか						4	
平成26年度予定							
継続実施						予算額	—
						目標値	—

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	2 生涯を通じた健康支援						
施策の方向及び具体的施策	3 保健・医療体制の整備			(3) 地域医療の充実			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H24)	目標値(H29)				
地域がん診療連携拠点病院としての機能充実	病院局			①充実		②継続 ●	③新規
事業の概要							
<p>全国どこでも適切ながん医療が受けられる体制の整備に向け、地域がん診療拠点病院として認定を受けている。以下の方針に基づき、圏域の医療機関とも連携を図りながら、手術、放射線療法、化学療法等による治療を行うとともに、患者または家族からの相談に対する情報提供や転院等の調整、早期発見を啓発するための広報活動を実施するなど、地域のがん医療水準の引き上げを目指す。</p> <p>○専門的ながん医療の提供を行う。 ○地域の医療機関の情報を把握し、連携の拠点として、地域におけるがん医療提供体制の構築に寄与する。 ○地域のがん医療を支える人材を育成する。</p>							
平成25年度実績							
<ul style="list-style-type: none"> ・がん患者とその家族を対象にがんサロン(さくらサロン)を開設し、療養上の悩みや不安、気持ちを分かち合うことで、大きな心の支えの場を設けた。 ・李良福氏相談支援センターを窓口として、患者または家族からの相談を受け付け、医師、看護師等との連携を図りながら、がん治療等に関する情報提供や心理面での支援などを行った。 面談相談(訪問等を含む) 626件 電話相談 732件 ・年3回の市民公開講座、院外の医師を招いての治療セミナー、医療スタッフの研修会を行った。 ・拠点病院として緩和ケア研修会を実施し、関係医療機関相互の均てん化を図った。 						決算額	
						18,048千円	
						実績値	
						左記の通り	
						進捗状況	
						5	
事業に対する評価・課題等							
<ul style="list-style-type: none"> ・おおむね好評をいただいている。 							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか						5	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか						5	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか						5	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか						5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか						5	
平成26年度予定							
<ul style="list-style-type: none"> ・これまで同様継続していく。 						予算額	
						—	
						目標値	
						—	

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—